

ほけんだより



2月4日は立春です。暦の上ではこの日から春が始まります。立春を過ぎたころに降る雨を寒明けの雨、立春から春分までに初めて吹く強い南向きの風を春一番といいます。季節は少しずつ春に向かっているのですね。

インフルエンザにまだまだ注意！



佐世保市内では、インフルエンザで学校をお休みする人は、先月に比べて少し減ってきているようですが、まだまだ200人近い小中学生がインフルエンザにより出席停止になっています。引き続き、しっかりと手洗いうがい、健康的な生活をし、予防に努めてください。

●●● インフルエンザの特徴 ●●●

・急に38度を超える熱 ・関節痛 ・筋肉痛 ・頭痛 ・のどの痛み ・鼻水
などの全身症状が急激に現れます。予防接種をした人は、症状が軽いことがあります。

冬に気をつけたい 感染性胃腸炎

ノロウイルスなどが原因で、主に

嘔吐・下痢・腹痛などを起こします。年間通して見られますが、

<感染経路>

- ① 感染した人の便や嘔吐物に触れるなどして、ウイルスや菌が口に入る
- ② 感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べる
- ③ ノロウイルスに汚染されたカキなどの二枚貝を生や加熱が不十分な状態で食べる
- ④ 感染した人の嘔吐物や便が乾燥して、空気中に舞い上がったウイルスを吸い込む

<予防のポイント>

- ① 手洗いをていねいにする
- ② 料理は十分に加熱する
- ③ 嘔吐物や便は、次亜塩素酸ナトリウム（ハイターなどの塩素系漂白剤）を使い処理する。



使い捨てゴム手袋やマスクを使って処理しましょう



「手洗い」は感染症予防の基本です！

日ごろから、こまめに正しい手洗いをするように心がけましょう。

最近話題の新型コロナウイルスって？

中国の武漢市において、令和元年12月以降、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が報告され、日本を含む世界各国からも発生が報告されています。

1. コロナウイルスって？

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすものは、これまで6種類が知られています。4種類は一般の風邪の原因の10～15%を占めるほどの、日常的に感染するウイルスです。他の2種類は、深刻な呼吸器疾患を引き起こし、2002年に中国で発生し各国に広がった重症急性呼吸器症候群（SARS）と、2012年にサウジアラビアを中心に発生した中東呼吸器症候群（MARS）の原因となりました。

今回の新型コロナウイルス感染症は、過去にヒトで感染が確認されていなかった新種のコロナウイルスが原因と考えられています。

2. 新型コロナウイルスは人から人へうつるの？

人から人への感染は認められるものの、どの程度の感染力があるのかはまだ明らかになっていません。

3. どんな予防方法があるの？

一般的な衛生対策として、風邪やインフルエンザと同様に、せきエチケットや手洗い等の対策を行うことが重要です。

中国本土での発生状況（2月3日時点）

感染者 17,205 名
死亡者 361 名

4. 日本はどんな対策をしているの？

- ・入国者や帰国者に対して健康状態の確認
- ・中国からの全航空便、客船において、入国時に「健康カード」の配布や、体調不良時の場合と解熱剤や咳止め薬を飲んでいる人には自己申告してもらうよう呼びかけ
- ・チャーター機を出して武漢市に住む日本人が帰国できるようする
- ・指定感染症、検疫感染症に指定 などの様々な対策を行っています。



5. 指定感染症に指定されたとはどういうこと？

- ・患者の強制入院や就業制限（仕事の制限）ができるようになり、入院などの治療にかかる費用も公費（税金）で負担されるようになる
- ・医師による迅速な届け出が必要となり、発生者の把握ができる
- ・患者と濃厚接触した人の調査をより確実に行うことができる などのことができるようになります。

参考：○新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する関係閣僚会議

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/

○厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

○首相官邸ホームページ

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

※令和2年2月3日時点での情報です。情報は日々更新されます。

※インターネット上には、うその情報もあふれています。全ての情報を鵜呑みにしないようにしましょう。